



万国外科学会 (ISS/SIC) 日本支部ニュース

News of Japanese Chapter of International Society of Surgery

発行：万国外科学会（ISS/SIC）日本支部
〒213-8507 神奈川県川崎市高津区溝口 3-8-3
帝京大学医学部附属 溝口病院外科
TEL：044-844-3333（内線3223）FAX：044-844-3222
発行者：山 川 達 郎
編集責任：万国外科学会（ISS/SIC）日本支部広報担当委員・
村田宣夫（帝京大学溝口病院外科）
E-mail：nmurata@med.teikyo-u.ac.jp
印刷：株式会社 dig TEL:03-3551-3060
年2回発行1995年4月創刊

万国外科学会 会員の皆様へ

万国外科学会日本支部長
(ISS/SIC, National Delegate, Japan)

山 川 達 郎

(帝京大学医学部名誉教授、
帝京大学溝口病院外科客員教授)



あります。これからは、日本支部会として何ができるのか、具体的な対応を
考えておく必要があるかと思ひます。この点、ISS/SIC COUNCILORの比
企能樹名誉教授とも相談しながら徐々に準備を進めていく必要があるのでは
ないでしょうか。会員皆様の忌憚りの無いご意見とご協力を期待しています。

イラク戦争は、一応、一段落したかのように報道される中、このイラク戦
争に端を発し、イスラム教武装組織ヒズボラの武装解除を求めて米国・イス
ラエル対シリア・イラン・レバノン間の緊張が高まっている現状に加え、ア
ジアでは北朝鮮の核問題がさらに表面化しつつある一方で、SARSの問題が
加わって、いまや世界中が混乱しています。学会本部もそれを大変、心配し
ていますが、今回のISW03は、日本支部会にとっては特別のものであります
ので、早く平和を取り戻し、中止されること無く、盛会裏に開催されること
を祈るばかりです。

40TH WORLD CONGRESS OF SURGERY INTERNATIONAL SURGICAL WEEK, ISW03

in Bangkok, August 24 to 28, 2003

organized by the

INTERNATIONAL SOCIETY OF SURGERY ISS/SIC
and its Integrated Societies - IAES, IATSIC, IASMEN & BSI

第40回万国外科学会（INTERNATIONAL SURGICAL WEEK; ISW03）
は、いよいよ8月24日から28日の5日間、タイのバンコックで開催されます。
このISWは、現在おなじみのSIR P. J. MORRIS, OXFORD, UKが会長を務め
る万国外科学会（INTERNATIONAL SOCIETY OF SURGERY; ISS/SIC）と
関連学会すなわち野口病院の野口志郎先生が会長をお務めになっておられる
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF ENDOCRINE SURGEONS
（IAES）や大阪大学 岡田 正（あきら）教授が会長のTHE INTERNATIONAL
ASSOCIATION FOR SURGICAL METABOLISM AND NUTRITION
（IASMEN）ほかTHE INTERNATIONAL ASSOCIATION FOR THE
SURGERY OF TRAUMA AND SURGICAL INTENSIVE CARE（IATSIC）、
BREAST SURGERY INTERNATIONAL（BSI）に加え、参加10学会が加わ
り行われる極めて大きな学術集会であります。

学会会長（CONGRESS PRESIDENT）は、慣わしによりISS/SICの
PRESIDENT-ELECTが務めることになっておりますので、PROFESSOR J.
Rüdiger Siewert, Munich, Germanyが、VICE PRESIDENTには、開催国の
ROYAL COLLEGE OF SURGEONS OF THAILANDのPRESIDENTと関連
学会の代表で組織されています。今回の学会では、IAESを代表して京都大
学 今村正之教授がVICE PRESIDENTの一人としてお名前を連ねておられ
ます。万国外科学会の長い歴史の中で、これほどまでに日本人が役員として
参画して開かれた会議は今まで無かったのではないかと思います。それだ
けに今回の万国外科学会は私ども万国外科学会日本支部会員にとって、忘れ
えぬすばらしい大切な学術集会になるのではないのでしょうか。最近届いた
ISS/SIC本部からのNEWS LETTERを見ても、その準備はほぼ完了して大変
興味をそそるすばらしいプログラムが完成し、開会を待つだけだと報じてい
ます。

今回の学会には、われわれISS/SIC日本支部会員にとって、さらに重要な
意義があります。それは、今回のISW03時、出月康夫東京大学名誉教授・前
ISS/SIC会長が日本人として3人目の名誉会員の栄誉をお受けになることに内
定しているということであります。これも私どもの誇りであります。会員の
皆様には是非、その授与式にご出席下さるようお願いいたします。またもう
1つ、さらにエキサイティングなことがあります。それは、今回の学会中に、
2005年、南アフリカのDURBANで開催されるISW05の学会会長候補に挙げ
られている慶応義塾大学 北島政樹教授の就任が確定するのではないかと考
えられることです。学会会長は、前にも述べましたように、ISS/SICの
PRESIDENT-ELECTでありますから、この数年、日本支部会として努力し
てきたISW誘致がさらに現実味を帯びてくるに違いありません。日本支部会
は2009年に目標を置いて運動をしてまいりましたが、今回バンコックの学会
において、2011年の開催地に日本が選ばれるのではないかとと思われることで

** 日本支部事務局からのお知らせ ** 年会費について

Invoices 2003 Membership dues

- The ISS/SIC again will charge an amount of USD 120.00 (respectively EUR 135.00) for ISS/SIC Membership including the subscription to World Journal of Surgery in 2003.
- In addition the integrated Societies of the ISS/SIC have charged the following amount for their membership in 2002:

Integrated Society	Assessment
a) IAES	USD 20.00
b) IATSIC	USD 20.00
c) IASMEN	USD 20.00
d) BSI	USD 20.00

- Furthermore, the following amounts of ISS/SIC National Chapter Assessments have been included in the invoices that have been sent out in 2002:

Chapter/ Country	Chapter Assessment 2002
a) Australia	USD 20.00
b) USA	USD 25.00 (USD15.00+USD10.00 to ISS-Foundation)
c) Japan	USD 40.00 (USD1,000.00 to ISS-foundation)
d) France	EUR 36.00 (~USD 32.00)

会員の皆様へ;

ISS/SIC本部から、近く年会費の請求があります。ISS/SIC会員の年
会費は、USD120,00ですが、日本支部会会員年会費USD40.00を含めて、
計USD160,00を毎年ご納入いただく必要があります。さらにIAES、
IATSIC、IASMEN、BSIなどIntegrated Societiesの会員になられている
場合には、それぞれの会の年会費としてUSD20,00が加算されます。日
本支部会費のUSD40.00は、後に日本支部に返済されますが、日本支部
はその中からISS/SIC基金としてUSD1,000をISS/SIC本部に寄付してい
ます。なお、日本支部会員の中には、シニアメンバーになることがで
きる資格、すなわち15年以上ISS/SICの正会員であり、現在は現役を離
れておられるという条件を満たす方が何人かおられます。申請方法は、
直接ISS/SIC本部に申請することができますが、日本支部長を通して申
請することも可能です。ただし、その申請の際には、その年の年会費
まで完納されていることが条件となりますのでご注意ください。

(支部長 山川達郎)

理事挨拶

—2003年3月理事会—

ISS/SIC理事
(北里大学名誉教授)

比企 能樹



今春の理事会開催を行うかどうかは年初まで決定されなかったが、ようやく3月の21日と22日ドイツのFrankfurt空港内のホテルで行われる通知がなされた頃には、USAの「対イラク戦争か」という報道が相次ぎ、世界中に緊張が走った。しかし理事会には当然出席するべく航空券と成田Expの乗車券も購入し、出発の前夜テレビを観て驚いた。ブッシュ大統領の宣戦布告の直後、映像はバグダッドに空爆の轟音と物凄い煙が立ち昇るのを伝えた。直ぐ外務省の海外安全対策本部に連絡をすると、「公式見解ではないが、この時期渡航は見合わせてほしい」と言われた。理事会出席者の野口志郎先生と岡田正先生に連絡したところ、野口先生は既に2—3日前にヨーロッパに出発されていたが、岡田先生と話し合っ理事会出席を今回に限り見合わせることにした。

前回の2002年10月の理事会で、2005年に予定するダーバンの学会開催に関して、私が発言した日本の立場、つまりダーバンは参加のためには遠方で時間がかかり、さらに社会情勢から見てわが国の外務省が安全基準を低く置いているため日本からの出席者は少ないだろうという見解を示した。どうしても開催するならば、開催側より安全に対する確固たるインフォメーションと日本からの交通アクセスの案内を示すべきである。以上の発言に対し、本年3月の理事会の協議事項が届き、私の上記要望に対してダーバンの安全性とフライトアクセスについての詳細が示された(下記参照)。今後わが国としては、より多くの情報を集める必要がある。そこで先ず、この地に留学経験のある北野正剛教授に当地の状況を伺ってみたところ、大変良い街で学会の行われる場所は治安上も問題ないでしょうとのご意見を頂いたので報告しておく。

わが国から推挙された長年の功績により出月康夫教授が、出席理事全員の名誉会員としての賛同を得られた。さらに次期ISS/SIC President electならびにISW2005 Congress Presidentとして北島政樹教授が理事会より推挙され

ダーバンの安全性とフライトアクセス

15th March 2003

Dear Victor

DURBAN SOUTH AFRICA - ISW 2005 VENUE

Following our communications regarding the hosting of ISW 2005 in Durban, South Africa, I have pleasure in writing to inform you of the following:

1 Flight Connections and duration of flights from Japan to South Africa

Whilst there are no direct flights from Japan to South Africa, there are a number of convenient connections via Far Eastern cities and the following are some examples:

Day	From	To	Depart	Arrive	Airline	Duration
From Japan to South Africa via Hong Kong						
Every day	Tokyo	Hong Kong	17h20	20h55	CX	4 Hrs 35
Every day	Tokyo	Hong Kong	17h35	21h10	JL	4 Hrs 35
Every day	Tokyo	Hong Kong	18h30	22h10	CX	4 Hrs 40

Mon/Tue/Wed/Fri/Sun	Hong Kong	Johannesburg	23h40	06h55	CX	13 Hrs 15
Mon/Wed/Thu/Fri/Sat	Hong Kong	Johannesburg	23h50	07h00	SAA	13 Hrs 10
Every Day	Johannesburg	Durban	Every	Hour	SAA	1 Hrs 10
From Japan to South Africa via Singapore						
Every day	Tokyo	Singapore	12h00	18h00	SQ	7 Hrs 10
Every day	Tokyo	Singapore	18h00	23h55	JL	6 Hrs 55
Every day	Singapore	Johannesburg	01h35	06h10	SQ	10 Hrs 40
Every Day	Johannesburg	Durban	Every	Hour	SAA	1 Hrs 10

For people wishing to make stopovers en route, there are also convenient flights via Sydney or via Kuala Lumpur. Return flights are as follows:

From South Africa to Japan via Hong Kong						
Every Day	Durban	Johannesburg	Every	Hour	SAA	1 Hrs 10
Mon/Tue/Wed/Thu/Sat	Johannesburg	Hong Kong	12h50	08h00	CX	13 Hrs 10
Every day	Hong Kong	Tokyo	10h40	16h10	CX	4 Hrs 30
Every day	Hong Kong	Tokyo	10h55	16h00	JL	4 Hrs 05
Tue/Wed/Thu/Fri/Sun	Johannesburg	Hong Kong	17h00	12h15	SAA	13 Hrs 15
Every day	Hong Kong	Tokyo	14h35	19h40	JL	4 Hrs 05
From South Africa to Japan via Singapore						
Every Day	Johannesburg	Durban	Every	Hour	SAA	1 Hrs 10
Every day	Johannesburg	Singapore	14h15	06h35	SQ	10 Hrs 20
Every day	Singapore	Tokyo	08h00	15h50	JL	6 Hrs 50
Every day	Singapore	Tokyo	09h45	17h35	SQ	6 Hrs 50

た。以上のお二人の推挙により、今年のバンコックでの総会において最終決定がなされる。

このようなわが国関連の重要案件が提起されるバンコックでの総会には、学会参加の諸先生方は、8月27日（水）午後14：00よりの総会に是非出席していただき、一票を投じて下さる事をお願い致したい。

さて、2005年のダーバンの安全性を云々している内に、われわれの前にはイラク戦争とSARSというこれからどのような展開を見せるのか甚だ不透明な大きな問題が提示されてしまった。イラクからなおシリアや他の中東諸国にこの混乱が波及するの、またSARSの汚染は現在の地域から更に拡大するのか。スイスの学会本部はこれに鑑み目下の所全力で、WHOや各国の政府の公式見解を考慮するとして上で、バンコクの学会開催実施の方向で進め、最終的な決断を5月末に設定した。従ってこのレターが配布される6月には晴れてISWの開催が決定する。現在までに学会本部には、これまでにないほど多数かつ高品質のAbstractが集まっているとのことで、これらが無駄にならないことを願って止まない。

また私は今期バンコクの学会において、任期が終わり理事を退くことになるが、長年支えて下さった会員諸先生方に対し深甚の感謝を捧げます。今後わが国は本学会にとって大変重要な役割を担うこととなりますが、会員諸先生方は日本から選出される次期会長をサポートし、本学会日本誘致を含め、ISS/SICの発展に大いに寄与して頂きたいと願う次第であります。

2 "Unsafe Places" where one should not go

As with any major city worldwide, be it London or Sydney or New York or anywhere, there are areas that are not recommended for visitors to go to. In the case of Durban these include the Point Road area and isolated places especially at night, like remote spots with little or no traffic.

South Africa is a developing country with a large emerging population who are quickly learning to appreciate the value of visitors and tourists and the job creation that they bring through tourism. People are embracing the tourists and a whole industry is being created in all parts of South Africa to showcase the people, their cultures and crafts as well as the beautiful attractions of this vibrant country with its warm and hospitable society.

The event organisers will have a desk at the International Convention Centre to advise delegates and accompanying persons of the numerous places that attract visitors and those that are not desirable. In addition we will be liaison with the hotel managers and their reception and door staff so that good, quality information is given to delegates regarding places to visit.

3 Website Notices

We recognise that there are negative perceptions of safety in some quarters created by media reports that there are safety concerns regarding Durban and South Africa. We will therefore create a specific area of the website where we will address this issue.

DURBAN, SOUTH AFRICA - SAFETY AND SECURITY

18th March 2003

Mindful of the priority that safety and security arrangements should be afforded in the light of recent and current global developments, this report is provided on Durban and South Africa as a destination.

DURBAN

Durban and particularly the International Convention Centre are aware of the concerns that are sometimes expressed by international players regarding the security situation in South Africa and have pleasure in providing the following information:

Durban has hosted over 80 international events since the International Convention Centre was opened in 1997. These include the incredibly successful and incident free X111 International AIDS Conference, which attracted more than 13000 delegates. It also successfully hosted high profile events including the Commonwealth Heads of Government and the Southern African Economic Summit, hosted by the World Economic Forum for an unprecedented three consecutive years and is proud to announce that it has been confirmed for the fourth time this year. The prestigious International BAR Association Biennial Conference was hosted in Durban in October 2002.

Durban was recently ranked as the No. 1 International Conference destination in Africa by the International Congress and Convention Association (ICCA) - testimony to its ability to host successful events. The International Travel Awards have ranked the International Convention Centre Durban as the No. 1 Convention Centre in Africa.

As part of an ongoing strategy to ensure the safety of delegates attending conferences in Durban, role-players in the industry, including the Convention Centre, the Hotels, Professional Conference and Event Organisers, Tour Operators and Destination Managers work very closely with the City Police, the South African Police Services and various other organisations to implement and maintain crime prevention initiatives. In addition to the routine and special event services, the city conducts a Bobby on the Beat Programme, which includes horseback patrols, motorbike and bicycle patrols.

Durban, as a host city has been so successful that the International Convention Centre is currently expanding its capacity to accommodate even larger and a higher volume of events.

Many of the delegates to International Conferences have said that due to the quality and value of the destination combined with the warmth and friendliness of the people of Durban, they will definitely be returning to the city and environs in the future as tourists. Durban also retains its reputation as the country's top domestic tourist destination.

SOUTH AFRICA

The growth and development of Tourism in South Africa has been phenomenal over the last year. With its comprehensive international and domestic air schedules and quality accommodation infrastructure combined with the wildlife, historical, geographical and cultural attractions, South Africa has become the fastest growing tourism destinations in the world.

Environmental and Tourism Minister Valli Moosa said earlier this month "South Africa is the world's hottest tourist destination, having attracted more than 6.4 million tourists last year. Overseas tourist arrivals are up by a massive 20.1% and all indicators point to a bumper 2003 for tourism".

The International Cricket Council world cup competition is currently drawing to its conclusion in South Africa and matches have been played in all the major centres throughout the country. This huge and prestigious event has taken place without any serious incidents being reported.

Cheryl Carolus, Chief executive officer of South African Tourism in an interview recently mentioned that 93% of all international delegates surveyed said they would definitely visit South Africa again. The report goes on to highlight many positive comments from visitors.

South Africa has also been granted approved destination status by China and a number of massive initiatives are being set up to cater for tourists to travel to this country.

DUDLEY RANDALL

Managing Director

Turners Conferences & Conventions (Pty) Ltd

第14回 万国外科学会
日本支部議事録

日時：2002年11月10日 木曜日 午前7時30分から8時30分
会場：京王プラザホテル 43階 オリオン

出席者： 32名

愛甲 孝、秋丸琥甫、阿部令彦、出月康夫、大谷吉秀、加納宣康、北島政樹、北野正剛、国崎主税、桑野博行、酒井 滋、桜井洋一、嶋尾 仁、清水一雄、白日高歩、杉原健一、炭山嘉伸、田尻 孝、野口志郎、梨本 篤、林 四郎、比企能樹、平山廉三、藤森 実、磨伊正義、前田耕太郎、真船健一、丸田守人、宮島伸宜、村田宣夫、安富正幸、山川達郎

(五十音順、敬称略)

議 事
馬場正三先生への黙祷

会長挨拶

ISS/SIC理事会報告（比企先生）

日本から出月先生が名誉会員に推挙された。

北島教授が次期会長に推挙された。

年会費が10ドル値上げされ、120ドルになった。

2005年8月21日から25日に南アフリカのダーバンにて万国外科学会が開催されることと決定した。

また、2007年にはカナダのモントリオールで開催される予定である。

Senior member（15年以上の会員歴）の資格を持つ先生は是非自己申告を行って欲しい旨の報告があった。

会員動向(2003.4)

会員数 270名		
内 訳	アクティブメンバー	250名
	シニアメンバー	19名
	名誉メンバー	1名

入 会（入会順）

1. 森脇義弘 横浜市立大学市民総合医療センター（2002年11月入会）
2. 和佐勝史 大阪大学小児外科（2003年1月入会）
3. 小池 薫 東北大学救急部（2003年3月入会）

※その他に申請中6名

支部活動報告

2002. 4. 12 第13回万国外科学会（ISS/SIC）日本支部 総会
（於：京都国際会館小会議室554）
2002. 4 万国外科学会（ISS/SIC）日本支部ニュース第14号発行
- 2002.11.14 第14回万国外科学会（ISS/SIC）日本支部 総会
（於：京王プラザホテル）
- 2002.11 万国外科学会（ISS/SIC）日本支部ニュース第15号発行
2003. 1 万国外科学会スイス本部へ寄付（1,000us \$:2002年分）

2002年決算報告

2002 年 収支決算書（2002 年 1 月 1 日～12 月 31 日） 単位：円

日本円の部	予 算 額	決 算 額	備 考
I 収入の部			
会費	0	5,000	他に日本支部運営費 8,000.00us \$（下記）
広告掲載料	200,000	350,000	
雑収入	0	38,500	
利息	0	105	
当期合計	200,000	393,605	
前年繰越金	854,419	854,419	
収 入 合 計	1,054,419	1,248,024	
II 支出の部			
会議費	200,000	227,219	2 回分
通信費	300,000	160,516	
印刷費	500,000	419,580	ニュースレター:2 回発行
文具費	50,000	21,901	
交通費	50,000	12,500	
人件費	150,000	120,000	
他誌広告費	100,000	0	
謝礼	0	0	
本部寄付	0	0	
雑費	10,000	80,196	
予備費	150,000	0	
会費送金（本部宛）	0	0	
支 出 合 計	1,510,000	1,041,912	
収 支 差 額	△455,581	206,112	他に 15,427.81us \$（下記）
2003 年 繰越金	△455,581	206,112	

US \$ の部	予 算 額	決 算 額	備考
収入の部	会費 8,700.00 us\$ 繰越金 8,711.00 us\$	会費 8,000.00 us\$ 利息 16.81 us\$ 8,711.00 us\$	本部から日本支部運営費入金 （為替経費手数料引後金額）
収入合計	17,411.00 us\$	16,727.81 us\$	
支出の部	本部寄付 1,000.00 us\$	本部寄付 1,000.00 us\$ 会費 300.00 us\$	
支出合計	1,000.00 us\$	1,300.00 us\$	
収支差額	16,411.00 us\$	15,427.81 us\$	2003. 1. 7 現在

ISS/SIC 万国外科学会日本支部

監事

田中雅夫

2003年 予算案（2003年1月1日～12月31日）

予算額	(円) の部	(US \$) の部	
1 収入の部			
会費		10,000.00	
広告	200,000		
前年繰越金	206,112	16,427.81	
収入合計	406,112	26,427.81	
2 支出の部			
会議費	200,000		日本支部総会開催（2回）
通信費	300,000		ニュースレター
印刷費	500,000		
文具費	50,000		
交通費	50,000		
人件費	150,000		
他誌広告費	100,000		
本部寄付		1,000.00	万国外科学会開催案内
雑費	10,000		
備費	150,000		
支出合計	1,510,000	1,000.00	
当期収支差額	△ 1,103,888	25,427.81 (1.00\$=120円 として 3,051,337.20円)	
2003年繰越金 (¥とus\$の相殺)		△ 1,103,888 + 3,051,337.20 = 1,947,449.20	

中外製薬
Roche ロシュ グループ

抗悪性腫瘍剤
創薬、指定医薬品、要指示医薬品

薬価基準収載

フルツロン[®]
Furtulon[®]
ドキシフルリジン製剤

注意—医師等の処方せん・指示により使用すること

※効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意等は
製品添付文書をご参照ください。

製造発売元（資料請求先）
中外製薬株式会社
〒104-8301 東京都中央区京橋2-1-9
TEL 0120-189706
FAX 0120-189705

2003年4月作成

プロトンポンプ・インヒビター

指定医薬品

タケプロン[®] カプセル15・30
OD錠15・30

(ランソプラゾールカプセル&口腔内崩壊錠)

■効能・効果、用法・用量、禁忌・使用上の注意等
については、添付文書をご参照ください。

Takepron[®] ■薬価基準：収載

(資料請求先)

武田薬品工業株式会社

〒540-8645 大阪市中央区道修町四丁目1番1号
http://www.takeda.co.jp/

(02041:854)



特別寄稿

「万国外科学会
（アカプルコ、ウィーン、ブリュッセル）
に参加して」慶応義塾大学外科
大谷吉秀

小生が万国外科学会に会員として初めて参加させていただいたのは、1997年、メキシコのアカプルコで開催された第37回大会です。その後、1999年にはウィーン、2001年はブリュッセルでの100年記念学会に参加いたしました。いずれもそれまで滞在したことのない都市でしたので、大変印象深く生涯忘れ得ないような時間を過ごすことができました。

アカプルコではとにかく猛暑でした。日中は体温よりも気温が高く、赤道に近いこともあり日差しはじりじりと焼けつくようでありました。参加登録の際にTシャツと帽子が配られたのはお土産というよりも必需品として役立てることが目的だったようです。エアコンの効いた会場で、小生は胃癌についての口演を終えた後、フロアで南米の外科医から、「自分は見たことがないが早期胃癌がどうして見つかるのか」とか「粘膜切除で癌が治るのか」といった日本ではめったに聞かれることの無い質問を受け、外科医が日常の診療で扱う疾病の地域格差を実感しました。日が暮れてからの懇親会ではテキーラとマルガリータが振舞われ、スタイル抜群の美人コンパニオンに囲まれて、皆、泥酔状態で踊っていた姿が今でも思い出されます。この学会の帰路、ダイアナ妃の事故のニュースが飛び込んできたのは残念でした。

ウィーンでは、学会を抜け出して、Billroth博物館を訪れました。彼が世界で初めて手術に成功したとされる切除胃の標本を見られたことで、胃外科を専攻する小生にとって、何よりも先祖の宝を目の当たりにでき感激しました。120年前に切除された臓器が保存されている事実を知り、ヨーロッパの人々の歴史に対する真摯な取り組みの奥深さに感心させられました。引き続いてパリから高速鉄道でボルドーに移動し、ヨー

ロッパとアメリカの創傷治療の合同学会に参加しましたが、こちらではワインツェラーを利用した地下のレストランで美味しいボルド



アカプルコの夕暮れ

ーワインを堪能することができました。

万国外科学会発祥の地、ブリュッセルでの100年記念学会では本学、北島政樹教授のグレイターナー記念講演のお手伝いとして、教室の仲間と参加しました。高名な外科医が世界中から集結した会場の高貴な緊張感あふれる雰囲気は今でも記憶に残っています。その日の午後、近くのレストランで、海の幸がたっぷりと入ったパエリアをベルギーの地ビールとともに存分に楽しみました。デザートの本場のワッフルの味もまた格別でした。

国際学会に参加する目的はいくつかあると思われますが、日ごろの成果を英語で発表しながら海外の外科医と交流することが大きな経験になり、自信につながりました。日本の先生方が海外でポロシャツにジーンズという服装になると、国内とは違う気さくな雰囲気でお付き合いができることもメリットかも知れません。昨今、国際情勢は不安定な様相ですが、これからも伝統ある万国外科学会が継続され、2年に一度世界中の都市を巡ることを楽しみにしています。



ビルロートの石像を囲んで（比企先生、秋里先生と共に）

編集
後記

◆ 今国際的に注目されている事件にSARS（Severe Acute Respiratory syndrome）がある。香港で発生した新型の呼吸器感染症で、漸くその本体がコロナウイルスであるらしいことが突き止められた。ワクチンがそのうち製造されるであろうが、ニュースによれば中国はSARS感染でパニック状態になっているという。中国の上層部が情報を隠匿しようとしたために騒ぎがいつそう大きくなっているようだ。現在は世界中の出来事が瞬く間にリアルな映像として伝わる高度情報化社会である。情報化社会であるのに重要な情報をへたに隠すとバレた時には隠匿の事実が広く伝わり、あとで修正の情報を流しても人々は信用するどころか、逆に悪い方へ悪い方へと考えてしまう。そういったことに慣れている人々は元より政府の発表を信じていない。ある北京の友人は、北京にSARS患者が数人でたようだという噂を聞いた時点で賢明にも混雑する盛り場に行くのを避けたということである。

◆ 国別SARS発生状況はWHOが集計して直ちにそのホームページに掲載している。それによれば4月24日現在、中国2601人、香港1510人、シンガポール192人、カナダ140人、ベトナム63人などとなっている。今後数値はさらに増加すると考えられる。今、タイは患者8人、死亡2人と報告されている。今後収束へ向かうことを祈っている。

(村田宣夫)

オキサセフェム系抗生物質製剤
指定医薬品、要指示医薬品^{※1}

フルマリン[®]
静注用0.5g・1g, キット静注用1g

注射用フロモキシセフナトリウム Flumarin[®] 略号 FMOX
注1) 注意—医師等の処方せん・指示により使用すること

■薬価基準収載 ■「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌」、「原則禁忌」、「使用上の注意」等については添付文書をご参照下さい。 ⑧登録商標
(資料請求先) 塩野義製薬株式会社
〒541-0045 大阪市中央区道修町3-1-8

シオノギ製薬

多価・酵素阻害剤 指定医薬品、要指示医薬品^{※1}

ミラクリッド[®]注射液
MIRACLID Inj. 25,000/50,000/100,000単位
一般名: ウリナスタテン

健保適用

※「効能・効果」、「用法・用量」、「使用上の注意」等については添付文書をご参照下さい。

＜資料請求先＞
持田製薬株式会社
東京都新宿区四谷1丁目7番地
電話 (03)3358-7211(代) 〒160-8515